

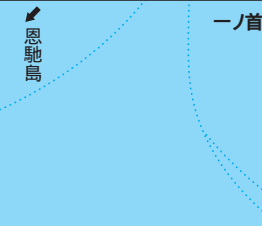
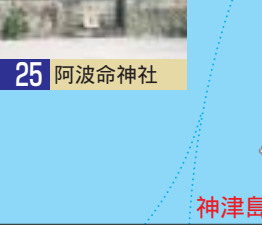
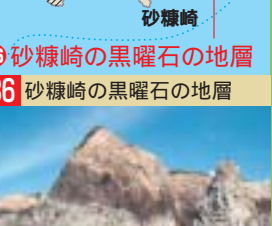
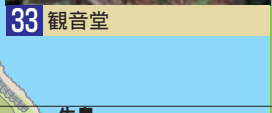
神津島全域 名所・史跡MAP

問合せ = 東京都神津島村役場産業観光課 ☎04992-8-0011 URL / http://vill.kouzushima.tokyo.jp/ 神津島観光協会 ☎04992-8-0321 URL / http://www.fsinet.or.jp/ kouzu



地図記号凡例

- ☪ 寺社
- ☪ 神社
- 🚻 トイレ
- 👁️ 展望台・展望地
- 🏕️ キャンプ場
- 🚏 バス停
- 🚌 バス路線
- 🚢 遊漁船航路



2 神津島灯台

10 弁財天宮

37 金長一帯の柱状節理

11 日向神社

16 秩父堂

36 砂糠崎の黒曜石の地層

36 砂糠崎の黒曜石の地層



名所と史跡 青い海、そびえ立つ山、地形の面白さなど、神津島は至るところが名勝地です。また豊かな自然環境は特有の文化を育み、その象徴が神社やお堂などの文化遺産が数多く残されています。

代表的なスポット巡り 秩父堂(村落 秩父堂 三浦湾 徒歩4時間) 庵屋堂(村落 庵屋堂 高根堂 村落 徒歩3時間) 阿波命神社(村落 海岸沿い 神社 村落 徒歩3時間) などがあります。



水配り神と海鶴

名所

1 千両池 せんにりょうけ 徒歩約1時間30分 地図A4 絶壁に囲まれた神秘的な深い瓢箪型の海の入江。池状の入江に入る魚を、入り口で塞ぎ大漁にしたことから「千両池」の名がつけられた、といわれる古い火口。

2 神津島灯台 つかしまとんたい 徒歩約1時間30分 地図A4 昭和26年12月18日設置点灯を開始。当時は夜間自家発電方式で職員が常駐していたが、同33年自動制御装置発電機設置によって無人になった。同45年には電灯線が配線されるようになった。光度25万カンデラ。光速距離2.7海里とされる。

3 ありま展望台 徒歩約50分・車10分 地図A3 前浜と天上山が眺望できる。おたあ・ジュリアの遺徳をしのぶ高さ10数メートルの白亜十字架が立っている。

5 三浦湾展望台 みうらわんていぼうたい 徒歩約1時間40分・車15分 地図B3 眼下に真っ青な三浦湾の海面、遠くに天上山、水平線の彼方に三宅島や御蔵島の鳥影を臨むことができる壮大な景観がある。

6 多幸湾展望台 たこうわんていぼうたい 徒歩約1時間50分・車20分 地図B3 多幸湾の美しさと天上山のダイナミックさは浮世絵からぬき出たよう。

7 高処山展望台 こうしょさんていぼうたい 徒歩約1時間30分・車20分 地図B3 眼下に広大な天上山裾野の、深い照葉樹林と多幸湾を望む。

8 長浜展望台 ながはまていぼうたい 徒歩約50分・車20分 地図B2 めいし海岸と長浜海岸の澄んだ青い海を俯瞰することができる。

9 冷風穴 れいふうけつ 徒歩約40分・車10分 地図B3 天上山黒島の麓にあり、山穴の砂礫の中から涼しい風が吹きだしてくる。真夏の気温が高い時は心地よい風を受ける珍しい場所。

12 多幸湧水 たこうゆうすい 徒歩約1時間55分・車20分 地図B3 平成15年、「東京の名湧水57選」に選定された多幸湾にそそぐ湧き水、

13 つづき湧水 つづきゆうすい 徒歩約2時間・車40分 地図B2 多幸湧水同様「東京の名湧水57選」で木立の中から湧き出る天上山からの恵みの水。

14 謎の立石 なぞのたていし 徒歩約1時間55分・車25分 地図B3 榎ヶ沢付近に立つ大石。その首、周辺には大山猫が棲んでいたという。

15 観音岩 かのんのいわ 徒歩約2時間・車20分徒歩15分 地図B3 天上山の黒島側中腹、遊歩道の途中から見えるそそり立つ大岩で、観音様のように見える。霧の中にたたずむ姿が神秘的雰囲気をかもしだしている。

20-1 沢尻湾の黒曜石の結晶 さわじりわんのくよくよせきのかいしょう 徒歩約30分 地図B2 神津島では数箇所黒曜石の岩層が形成されているが、沢尻の磯の岩場には、珍しい結晶の黒曜石を観察することができる。村では大切に保存しているので、結晶を壊さないようにしたい。

20-2 錆崎海岸 さびさきかい 徒歩約35分 地図A2 沢尻湾沿いのトンネルを抜けると海岸の岩が変化に富むようになる。ここに太平洋を望む露天風呂をもつ神津島温泉保養センターがある。ただし露天風呂は水着着用のこと。

21 めいし海岸の大岩 めいしかい 徒歩約1時間・車15分 地図A2 溶岩が固まる時に形成された、流れる紋様(流理構造)を呈する岩。岩一面に残っているのは大変珍しい現象。付近には遊歩道がつけられている。

22 三味線松と太鼓松の跡 しみせんまつとたいこまつのあと 徒歩約1時間5分・車15分 地図B2 三島大社の祭神・事代主命が正後の阿波命を訪ねた折、この付近で二本の大松の樹上からながれる三味線と太鼓の調べとともに迎えられた、という。

23 メッポー山 徒歩約1時間10分 地図B2 小浜・長浜間にあり、その首金雲母流紋岩に覆われていて「滅法美しい山」と言われたことが名の由来と、その形状から大亀岩とも呼ばれる。

24 ブトーシ岩 徒歩約1時間15分・車20分 地図B2 長浜海岸の始まり近くにある穴の開いたユーモラスな大岩。

26 たたみが鼻 徒歩約1時間30分・車25分 地図B1 平らな岩が海にせり出した、絶好な観潮台。ゆったりとくつろげる。

27 おおだちの湧水 徒歩約1時間35分・車25分 地図B1 冷たい湧水が、名組湾の岩間から海にそそぎ出ている。

29 赤崎の遊歩道 あかざきのゆうぽうだう 徒歩約2時間・車25分 地図B1 海にせり出す岩場に作られた数百メートルの木製の歩道。まるで海の上を歩いているような気分になる。また、入り江になっているので、遊泳や海辺の観察に適した場所になっている。

34 恩馳島 おんばせじま 遊漁船で20分 地図A4 前浜の沖合い数キロ先の洋上にある無人の島で、こもりといた大岩礁。潮流が早く、島民の豊かな漁場になっている。昔、アシカが生息していたことからアシカ島といわれた。オッパシとも呼ばれている。付近の海底には黒曜石の層がある。

35 祇苗島 ただないじま 遊漁船で45分 地図C4 多幸湾の沖合い約4キロ先にある無人島。阿波命の御子タウナイが名づけたと伝えられる。海鳥の生息地であることから、産卵期にはアオダイショウやシマヘビなど、多くのヘビが見られる。別名へび島。また、周辺の海は急深で潮流が早い。

36 砂嶺崎の黒曜石の地層 さなかざきのくよくよせきのちそう 遊漁船で約40分 地図C3 数キロにわたる海岸の断崖につづく黒曜石の地層。しかし、陸上からは一部分が多幸湾から見えるのみで、ダイナミックな地層全体は遊漁船などをチャーターして海上から観察することになる。海上からの黒曜石地層をみることでできるのは国内でもまれだ。

37 金長一帯の柱状節理 きんながいたいのちゅうじょうせり 遊漁船で35分 地図A4、B4 神津島灯台から三浦湾にいたる島南部の断崖の海岸線。海中から切り立つ柱状の岩は迫力満点。周辺は、釣り船による「磯渡し」の絶好の釣り場になっている。

史跡

4 菊若遺跡 きくわかいせき 徒歩約25分 地図B3 横道展望地近くの、菊若・向山・半坂という一帯に広がる縄文後期から弥生前期の遺跡。土器片や石器などが発見され、道脇には配石墳墓跡がある。

10 弁財天宮 べんさいてんくう 徒歩約1時間40分 地図B3 多幸湾を見下ろす地にあり、小さな社殿が建つ。昔は多幸湾内の丸島に置かれていて、「丸島様」とも呼ばれていたという。村落内の琴平宮にも弁財天をまつる祠がある。島の西と東のそれぞれ、海の幸をもちたす大切な信仰対象。

11 日向神社 ひゅうがじんじや 徒歩約1時間50分 地図B3 神津島の開祖、物忌奈命の弟タウナイをまつる。一説によると、昔は海側の地に広大な神域があったが、侵食されて現在地に転移したと伝える。

16 秩父堂 ちちぶどう 徒歩約1時間20分 地図B3 標高282mの秩父山山頂近くにあり、東国三十三霊場を模し、「秩父霊場三十四札所」とされる。「秩父霊場三十四札所」とされる。この山のお堂にお参りする。城内には由緒ある石碑、秩父二十四個寺の石像が置かれ、頂上部からの展望は抜群だ。本尊は一番四万部寺の如意輪観世音。

17 横道の地蔵様 よこみちのじぞうさま 徒歩約35分 地図A3 島周辺の海で遭難した人の霊を弔うために作られた、とされる地蔵様が島内各所で見られる。横道の地蔵様そのひとつで、海を向いて置かれている。

18 庵屋堂 あんやどう 徒歩約1時間 地図B2 村落北側の山稜上にあり、ご本尊を聖観世音とするお堂。境内に観世音菩薩を中心に七観音が安置され、「坂東三十三札所巡礼場」と刻まれた碑がある。

19 高根堂 たかねどう 徒歩約1時間5分 地図B2 観世音菩薩をまつる。お堂の裏手に十一面観音の石像が置かれている。郷土資料館には、この原寸大レプリカが展示されている。

25 阿波命神社 あわのみことじんじや 徒歩約1時間15分・車25分 地図B2 長浜沿いにあり長浜神社ともいう。事代主命の正後の阿波命を祭神とする。毎年4月15日の例大祭には浜の海砂に神が宿るとして、平たい石に砂を盛って鳥居や神殿前に供える風習がある。延喜式神名帳では名神社と伝えられる。

28 トロッコの跡 徒歩約1時間35分・車27分 地図B1 昭和17年から30年頃まで、島北端の神戸山から切り出した自然石を、名組湾から運搬船に積み込むために作られた鉄筋コンクリート造りのトロッコ軌道橋跡。

30 那智堂 なちどう 徒歩約1時間10分 地図B2 天上山白鳥登山道の途中にあり、西国33ヶ寺の一尊、那智瀧の青岸渡寺を模したもの。堂内に如意輪観音をまつり、境内に西国巡礼の記念碑がある。

31 不動尊 ぶどうぞん 徒歩約2時間10分 地図C2 天上山山頂部、不動池の真ん中に築山してできた小島にまつられる。祠には鬼気迫る竜王が置かれ、その像は見るべからず、と伝えられる。山頂部の地形は変化に富み、水配り神話が生まれた不入が沢など神秘的な雰囲気漂よわゆる。

32 つづき堂 徒歩約3時間 地図C2 天上山北麓にあり、ご本尊は、金色の観世音菩薩。境内には、文政年間の甲斐の徳上人の筆になる石碑や地蔵菩薩が置かれている。近くの道路沿いに賽の河原と呼ばれる地蔵尊がある。また、お堂の前の湧水は「東京の名湧水57選」に選定されている。

33 観音堂 かのんのどう 徒歩約4時間10分 地図C2 島の北東、観音浦海岸の険しい断崖の下にあるお堂。境内には金色に輝く二体の観音像がまつられている。背後には西国三十三個寺の札所の番号と精巧に彫られた石仏が置かれ、参道沿いの「おりつち」には石仏がある。お堂の先には「水ん沢」と呼ばれる湧水が流れている。しかし、観音浦は遠く、道もわかりづらいため、島民も簡単にいけない。

神津島歳時記 島特有のものに限りました

- 1月 元旦・3日 豊漁と安全祈願する「船豊漁」
- 2月 2日 漁船の乗り初め
- 4月 4日 巾着漁業の泊まり初め
- 1月24日・26日(旧暦) 操業順を決める「観祭」
- 2月15日(旧暦) 二十五日様
- 4月1日 阿波命神社例祭 長浜祭
- 5月 第3土曜日 おたあ・ジュリアの遺徳をしのぶ「ジュリア祭」
- 7月中旬 豊漁と安全祈願 恩馳祭
- 31日 物忌奈命神社例祭
- 8月1日 同神輿巡行
- 2日 同かつを釣神事
- 9月13日(旧暦) 十三夜
- 10月15日 日向神社例祭
- 10月16日 祖先の祭 十夜
- 11月16日 秋葉神社例祭
- 12月1日 海難者供養 川はたり